



令和3年度 早春の展示

# 商い・遊び・祈り

— 木簡が語る中世 —

令和4年1月21日|金| ▶ 3月21日|月・祝|



重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 左:銭塊,右2点:木簡,当館蔵

草戸千軒町遺跡の発掘調査は、中世考古学の先駆けとして、町や人々の姿を明らかにしてきました。数多くの出土資料の中に木簡があり、そこに記された文字を読み解くことで、商い・遊び・祈りなど、中世の生活や社会の姿が鮮明なものになってきました。今回、草戸千軒町遺跡の代表的な木簡を一堂に展示し、あわせて広島県内から出土した主要な木簡も紹介します。

写真は、草戸千軒町遺跡から出土した銭塊と木簡です。木簡には、金銭の貸付け、貸付け先、元金と利子、返済の期限、元利の回収などの経過が記されていました。中世は、商品の流通とともに貨幣による取引が盛んになった時代で、木簡はこうした社会の姿を反映しています。

関連行事は2頁へ ▶▶

草戸千軒町遺跡は、発掘調査の結果、瀬戸内海に注ぐ芦田川の河口付近に位置する港町であったことが明らかになりました。港町では、人や「もの」が集まり、物品や金銭の様々な取引が行われました。情報や流行も伝わって来たり、周りへ広がったりした場所でした。こうした港町の特徴が、出土した木簡の背景にあったことでしょう。

## 商い・遊び・祈りの世界

物品や金銭の取引の際に木簡が用いられました。記された地名・人名、物品名、行為、数量・金額、日付などの文言から、取引の実態が明らかになってきました。

また、茶や香に関わる道具が出土しており、これらを嗜む人がいたことが分かります。そして、茶や香の種類を判別する遊びである闘茶や聞香の際に用いられた闘茶札・聞香札も出土しています。当時の流行の文化として、この町に受け入れられたのでしょうか。

さらに、亡くなった人の冥福を祈るとともに、病気・事故・災害などの災いを取り除き、安全・健康・幸福な暮らしを願っていました。このことを示す出土品に、板塔婆・位牌・呪符・御札などがあります。これらを人々に授けたのは、仏教・道教やまじないなどについて専門的な知識を持つ者だったでしょう。



「大麦二斗四升合」の代価の「百四十七」文を記す木簡



銭「拾貫(十貫)のうち」の「伍貫文(五貫文)」を記す木簡



源氏物語の巻名「あひひ(葵)」を記す聞香札



「本 非」(本茶と非茶を表す)を記す闘茶札



「まじないの符号と「阿」(密教で万物の根源を表す)と「天形星」(道教の神を表す)を記す呪符

※5点とも重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品、当館蔵  
◆新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、予定が変更になる場合があります。御了承ください。

### 関連行事の御案内

#### 開催記念講演会

2月5日(土)、2月19日(土)、2月26日(土)、3月5日(土)の4回開催します。詳しくは4ページに掲載しています。

### 展示解説会

日時：1月23日(日)、2月20日(日)  
時間はいずれも13時30分～14時30分  
講師：当館学芸員

主催／ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)  
会場／広島県立歴史博物館 企画展示室  
休館日／月曜日(3月21日は開館)、2月1日(火)～2月4日(金)  
入館料／一般290円(220円)、大学生210円(160円)、高校生まで無料 ※ ( ) 内は団体20名以上の料金

後援／福山市、福山市教育委員会、福山商工会議所、広島経済同友会福山支部、一般社団法人福山青年会議所、一般社団法人広島県観光連盟、中国新聞備後本社、山陽新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

# 頼山陽史跡資料館

## 特別展「ひな人形と春の書画」

令和4年2月17日(木)～3月13日(日)

この「ひな人形と春の書画展」では、竹原頼家ゆかりのひな人形・ひな道具を中心に、全国各地の民芸ひな(川手コレクション)や広島の人形作家の作品などを、春を感じさせる書画作品とともに



春風館のひな人形でおよそ150年前のもの。  
福山出身の日本画家 羽田 桂舟の妹ヨネさんの嫁入道具の一つです。

に紹介します。平成12年から毎年開催しており、早いもので、今年で21年になります。

ある時は、ボランティアで来られていた方から御殿飾りのひな人形をお借りし、またある時は三次町の商店街から古い三次人形をお借りしたこともあります。文字どおり「手を変え品を変え」ながら続けてきました。

平成18年度からは、中区の広島市立基町幼稚園の年長クラスの園児たちが作ったひな人形とひな絵をロビーに展示しています。最初に作品を展示した時の園児たちは、今では成人し、二十歳を過ぎました。毎年、園児たちは遠足で展示を見に来てくれます。普段は子供の声が聞こえることのない資料館ですが、この時ばかりは少しだけにぎやかになります。子供の作品を温かいまなざしで見つめているお客様の姿を見ていると、こちらまで温かい気持ちになります。



「わたしのひな人形」  
園児たちの力作。見てみると癒されます。

上巳の節句(ひな祭り)は長い歴史をもつ年中行事です。大切に受け継いでいきたいものです。

- 会 場 / 頼山陽史跡資料館  
広島市中区袋町5-15 TEL.082-298-5051
- 時 間 / 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休 館 日 / 月曜日
- 入 館 料 / 一般300円(240円), 65歳以上240円, 小中高生150円(120円)  
※ ( )は団体15名以上の料金
- 関連行事 / 展示解説会  
日時: 3月5日(土)13:30～  
解説: 当館職員



RAI SAN YOU

# 博物館掲示板

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)では、

## 公式ツイッターアカウントを開設しました!

展示やイベントの情報,学芸員の日々の活動など,  
ミュージアムに関するいろいろな情報を  
発信していきます。

フォロー、リツイート、「いいね」を、

よろしくお願いします!

[https://twitter.com/hiroshima\\_prhk](https://twitter.com/hiroshima_prhk)



## 令和3年度考古学講座の御案内

今年度の考古学講座の日程等は次のとおりです。皆様,是非お聴きください!

### テーマ「木簡」

聴講無料・申込不要

回数	演 題	講 師	開 催 日
第1回	早春の展示開催記念講演会① 「木簡と古代史」	大阪大学大学院文学研究科 教授 市 大樹	2月5日(土)
第2回	早春の展示開催記念講演会② 「中国古代の木簡と竹簡」	岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授 土口 史記	2月19日(土)
第3回	早春の展示開催記念講演会③ 「安芸国分寺出土木簡をめぐる」	広島大学 名誉教授 佐竹 昭	2月26日(土)
第4回	早春の展示開催記念講演会④ 「木簡が語る商い・遊び・祈り」	当 館 学芸員 下津間 康夫	3月5日(土)

※時間は、いずれも14:00~15:30

※講演会は、新型コロナウイルス感染症に十分に配慮し、対策を講じた上で開催します。

※聴講人数は、講堂150人に制限します。(令和3年10月1日現在)

※定員に達した場合、入場をお断りします。



# お正月 だよ! こども博物館

今年もやるよ!

参加無料 申込不要

令和4年1月2日(日)・3日(月) それぞれ 10:00~16:00

博物館のまわりで、こままわしや羽根つきなど、伝統的なお正月遊びが一日中できるよ!

※展示も御覧いただけます。



※講演会・イベント等のスケジュールは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更・中止になる場合があります。詳しくは、当館ホームページ等で御確認ください。

### 休館情報

年末年始は、令和3年12月28日(火)~令和4年1月1日(土)に休館します。また、施設維持管理のため、令和4年2月1日(火)~4日(金)に臨時休館します。

## ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第129号

編集・発行 令和3年12月10日



ふくやま  
**草戸千軒ミュージアム**  
(広島県立歴史博物館)  
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067

広島県福山市西町二丁目4-1

TEL(084)931-2513 FAX(084)931-2514

URL : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>

e-mailアドレス : [rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp)

